



家庭での虐待ってどういうもの？



A. 大きく分けて4つあります。

まず、虐待は犯罪だ、ということを覚えておきましょう。

児童虐待、って聞くとどこか残酷な扱ってというイメージがあるけど、英語では「child abuse = チャイルド アブユーズ」といいます。

abuse = アブユーズは「誤用、濫用」という意味で、大人としての力を間違って使っている、大人が子供に対して力を濫用する、というイメージなのね。

①身体的虐待

身体的虐待は、保護者が子どもに、殴る、蹴る、水風呂や熱湯の風呂に沈める、火傷をさせる、戸外に締め出す、などの暴行をすることを指すわ。

子どもは、打撲や骨折、外傷、火傷などを負い、死に至ることもあります。

身体的虐待は、周囲からわかりやすく、顕在化しやすいといわれているけれど、注意が必要なのは、洋服の下の見えない部分にだけ暴行を加えるタイプもあるということ。

着替えのときなどに、少しでも様子がおかしかったら、目で確認できる顔や腕、足にけががなくても、洋服の下も見てください。

②性的虐待

性的虐待には、子どもへの性交や、性的行為の強要・教唆、子どもに性器や性交を見せる、などがあげられます。

性的虐待は、本人が告白するか家族が気付かないとなかなか顕在化しないものなの。

実父や義父などから「黙っていないと殺すぞ」って暴力や脅しで口止めされているケースも少なくないわ。

開始年齢が早いと子どもは性的虐待だと理解できないこともあります。

性的虐待なんて起こるはずがない、という先入観で見がちなんだけれど、実際に乳幼児期から発生しているのよ。

性的虐待は、実母や義母などの女性から男の子どもに対しても起こります。

③心理的虐待

心理的虐待は、大声や脅しなどで恐怖に陥れる、無視や拒否的な態度をとる、著しく兄弟の間で差別をする、自尊心を傷つける言葉を繰り返し使って心に傷を負わず、子どもがドメスティックバイオレンス(DV)を目撃する、などを指します。

子どもの心を死なせてしまうような虐待、と理解するといと思います。

④ネグレクト

ネグレクトは、保護の怠慢、養育の放棄・拒否などと訳されているわ。

保護者が、子どもを家に残して外出する、食事を与えない、衣服を着替えさせない、登校禁止にして家に閉じ込める、無視して子供の情緒的な欲求にこたえない、遺棄などを指します。

育児知識が不足していてミルクの量が不適切だったり、パチンコに熱中して子どもを自動車内に放置する、なんかも入るわね。

乳幼児や年齢の低い子どもに起こりやすい傾向があるのよ。

安全や健康への配慮が著しくかけているために、子どもが死に至るケースもあるの。

病気なのに病院に連れて行かない、医療ネグレクトも存在します。

厳密には、これらの虐待が単独で行われることは少なく、いくつかのパターンが複雑に絡み合っているパターンがほとんどなの。

虐待かも、と思った時点で、通報しなければいけないのよ。

[虐待通報は義務](#)、なのです。

局番なしの「189」で、全国どこでも通報を受け付けているわ。

完全に匿名で、通報者のことが第三者に漏れることはありません。

速ければ速いほどいい、遅くなればそれだけ悲しいことにつながりやすいから。

怪しいとは思うけれど、大丈夫だろう、というのはダメなの。

疑わしきは通報を、というのが鉄則。

虐待でなければそれでいいし、虐待ならばその子どもが助かるかもしれないのだから。

[《MENU》](#)

[《サービス提供時間って？》](#)

[《マニュアルってなんであるの？》](#)

2021-04-26 掲載